

語りつぐ真実

読谷中学校一年

大城

美沙希

今から約六十七年前、沖縄に住んでいる人なら誰でも知っている「沖縄戦」がありました。今は、たくさんの人々が、当たり前前のように知っています。それは沖縄戦のことをずっと語りついできた、おじいさん、おばあさんのおかげです。しかし、これからの未来、沖縄戦の悲しみ子どもたち語りついでくれる人々は、どのくらいいるのでしょうか。

私は、小学校三年生のころに、一緒に住んでいる祖父と祖母から沖縄戦についてたくさんの話を聞きました。沖縄にアメリカ軍が上陸してきたこと、お墓にもかくれたり、人々が目の前で死んでいったこと、食べ物が少ない、くてもいつもおなかをすかせていたこと、日本兵が泣いている赤ちゃんを殺したこと、それ以外にも、たくさんの悲しみを教えてくれませんでした。私は、これらの話を聞いて、戦争の悲惨さを子孫に伝えなければならぬと思

ました。

また、小学校六年生のころは、平和学習で平和祈念公園や、戦争中に病院として使われていたガマに行きました。平和祈念公園では、戦争中の街の様子や、当時の服装などがマネキンでとてもわかりやすく再現されていて、その当時の暮らしがとても大変で苦しかったことがわかりました。また、本当に病院として使われていたガマでは、まず、入る前に、あ

まり怖くはありませんでした。しかし、本物のガマは、道がせまくてボコボコしていて、歩きにくかったです。その時は、ライトを持ってついていたけど暗くて、みんなでライトを消すと真っ暗闇になり、とてもムシムシしていて、暑くて「こんなところで過ごせるの。」と思います。ました。ですが実際にそこには人があふれるほどいて、その人々はそこで何日も、何ヶ月も過ごしていたのです。暗くて暑くてせまい所にかくれていたのです。考えられますか。

もし私がそうだったなら、すぐに「いやだ。」と
思っ、て、抜、け、出、し、て、い、た、か、も、し、れ、ま、せ、ん、。で
も、戦、争、中、だ、っ、た、の、で、ム、リ、か、も、し、れ、ま、せ、ん、。
さ、ら、に、動、け、な、く、な、っ、た、人、達、は、ガ、マ、が、危、な
く、な、っ、て、そ、こ、を、移、動、す、る、と、き、に、置、い、て、け
ぼ、り、に、さ、れ、て、し、ま、い、そ、こ、で、亡、く、な、っ、て、し、ま
う、人、も、一、人、や、二、人、で、は、な、か、っ、た、と、思、い、ま、す、。
そ、う、思、う、と、足、が、す、く、ん、で、ガ、ク、ガ、ク、震、え、て、思
う、よ、う、に、歩、け、ま、せ、ん、で、し、た、。
こ、の、よ、う、に、戦、争、で、は、た、く、さ、ん、の、人、々、が、

つ、ら、い、思、い、を、し、た、こ、と、そ、の、時、に、生、き、た、た
く、さ、ん、の、人、々、が、悲、し、い、思、い、を、し、て、心、に、大、き、な
傷、を、残、し、た、こ、と、た、く、さ、ん、の、人、々、が、亡、く、な、っ
た、悲、惨、さ、を、子、孫、に、伝、え、て、い、か、な、か、っ、た、ら、そ
の、戦、争、が、あ、っ、た、こ、と、を、誰、も、知、ら、な、い、世、の、中、に
な、っ、て、し、ま、い、ま、す、。あ、る、い、は、ま、た、同、じ、よ、う、な
過、ち、を、お、か、し、た、く、さ、ん、の、人、々、が、傷、つ、い、て、し
ま、っ、た、ら、一、度、お、か、し、た、過、ち、を、通、し、て、学、ん、で
き、た、事、や、も、う、こ、ん、な、こ、と、が、起、き、な、い、よ、う、に、
お、じ、い、さ、ん、お、お、ば、あ、さ、ん、が、教、え、て、く、れ、た、こ、と

が全部水のあわになつてしまひます。そのよ
うなことになるにしようにするには、戦争の
悲しみ、悲惨さを知っている私たちが子孫に
伝えて、その子孫がずっと伝え続けていけば、
同じ過ちが起こつてしまふことはなくなる
私は思っています。